

平成25年度
2014年

学校だより

第35号

1月25日

ヒューストン日本語補習校

第11回 オープンハウス

補習校児童生徒が通う現地校の担任の先生を本校に招くオープンハウスは、平成2年度から始まり今年で11回目を数え、1月18日に次の日程で行われました。

10:00～全体会①運営委員長 首席領事 商工会長挨拶

10:25～餅つき体験 試食 児童生徒餅つき見学等

11:40～授業参観

12:30～本校職員との懇談

13:15～全体会②副委員長本校概要説明

借用校教員の日本研修報告 校長挨拶



現地校の先生方は餅つきに興味があるようで、中には9時半から見学していた先生もいました。

会場では子ども達に声をかけたり餅つきの様子を熱心に撮影したりする姿が見られました。

4校時は受け持ち児童生徒の教室中心に参観していただきました。

本校職員とは約30分でしたが、座席で昼食を摂りながらじっくり懇談することができました。

全体会②では概要説明の後、写真で本校行事説明が行われました。



もちつき大会

恒例の「餅つき大会」が、今年も全材料を日販大道さんから提供いただき、盛大に行われました。

運営委員、PTA役員、保護者ボランティアの皆様には、早朝から準備・運営に従事していただきました。おかげさまで児童生徒全員が餅つきを体験でき、つきたてのお餅を試食することができました。



はじめは恐る恐るといった感じで握った杵も、数回つく内にペッタンペッタンと良い音になってきます。



つきたてのお餅は「あんこ・きなこ・醤油(海苔)」の3種類、みんなおいしくいただけただようで「おかわり!」の声も聞こえてきました。

試食の後は会場に掲示された年賀状展・硬筆展入選作品をクラスごとに観賞し、味覚と視覚でお正月気分を楽しんだようです。

生徒作品

中学部「読んだこと～」より

タイトル： 中学生女子24%が運動「0分」

記事を読んだ理由： 身近・驚いた

記事の要約： 女子中学生の3割、女子小学生の2割は体育の授業を除く1週間の運動時間が1時間未満であることが12/14公表の「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」で分かった。中学女子では24%が「0分」と回答している。

文部科学省は「運動への動機付け」を図るよう学校に働きかける。

感想・意見

中1 奥原咲月 運動することはいいことだと思いますが、したくない子は体育の授業を受けるだけでいいと思います。なぜかという、スポーツが苦手な子や運動自体が苦手な子がいっぱい居るからです。

運動不足を防ぐのは当然だと思います。ですが、苦手なことを必要以上に無理強いするのはよくないと思います。

中1 塚谷萌衣 私は、小学校の頃は水泳を習っていたが、中学に入って部活などもありやめた。部活は文化部だったため、運動時間は体育以外「0分」となった。私が基礎練習をしている間、運動部の友達がたくさん走っていた。そういったところでこの体力テストの結果が変わってきているのかな、と思う。

運動部の人も文化部の人も、好きなことに同じように夢中になっている訳だし、だからといってその場で運動する事は時間の関係で難しいと思う。だから、体育の時間は全員で同じようにしっかり取り組むことで充分ではないかな、と少し感じた。

◆パトロール当番予定表 10月26日◆

これは2・3月当番一覧表に記載された予定です。

変更の場合はこの表とは異なりますのでご注意ください。

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	高3	34	丸山 莉南
2		35	酒井 翔平
3		36	春田 航季
4	幼	1	飯田 晴人
5		2	金杉 東治
6		3	イソ- 兜
7		5	原 唯真
★PM1リーダー	幼	6	山上 侑紗
2		7	天野 達也
3		8	片岡 なつみ
4		9	小林 誉
5		10	メイ- 魁
6		11	山崎 港太
7		12	藤田 麻那

生徒作品 「食べ物にまつわるエッセイ」より

『世にも恐ろしい食べ物』 中2 ミトラ健

僕は今までにいろいろな国へ行って、いろいろな食べ物を食べてきた。しかし、その中で忘れられない食べ物がある。それは中国で食べたサソリである。そう、サソリ、世にも恐ろしいあのサソリを僕は口にしたのだ。

中1の夏休みに僕は家族と中国へ旅行した。上海と北京をめぐる10日間ほどの旅行だったが、旅の思い出に、と父が北京の王府井通りへ連れて行ってくれた。そこは、エキゾチックな食べ物が数多く売られていることで有名な場所だった。

期待に胸をふくらませながら僕は王府井通りを歩き始めた。人ごみの向こうからいいにおいが漂ってきた。何の匂いだろうと思いつつ近寄ってよく見たとき、僕の心臓は一瞬止まりそうになった。なんとそれは串に刺さったサソリだった。しかも足としっぽが激しく動いている生きたサソリだったのだ。僕は立ちすくんだまま動けなくなった。中国人はこんな物を食べるのか、信じられないと思った。

気がついたら父がすでにサソリを買っていた。父は一番元気そうなサソリを買ってお金を払った。店の人は3匹のサソリが刺さったままの串に塩こしょうを振って、一気に高温の油の中に入れた。

「ジューッ。」という音がしてあっという間にサソリの揚げ物ができた。



3匹のサソリは、父と僕と弟の3人で1匹ずつ食べた。僕はサソリを口に入れながら毒針に刺されたらどうしようとドキドキしていた。ゆっくりとかんでみると、皮付きのエビを食べているような歯ごたえがあった。肉も、どちらかと言えばエビの味に似ていた。見かけは悪いが味はまあまあだった。

サソリを食べた時は怖かったが、これからはどんな食べ物でも食べられそうな気がした。

学籍

在籍数 (1月25日現在) 379名

幼40名 小246名 中65名 高28名

Japanese Language Supplementary School of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel.281-531-6743 / Fax.281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel.Fax 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org

Home Page: www.jeihouston.org

H.P.に於て学校便りをカラーでご覧になれます。

(文責 : 校長 山岡 清孝)